

はじめての

# 万葉集

[vol.77]



## これやこの 大和にしては わが恋ふる 紀路にありといふ 名に負ふ背の山

阿閌皇女 **卷一** (三五番歌)

紀州路にあるとしてかねて大和で心ひかれていた背の山。  
これこそ、その名にそむかぬ背の山よ。

## 名に負ふ背の山

この歌は「背の山を越えし時に、  
阿閌皇女の作りませる御歌」と題  
された一首です。

「これやこの」は、これがあの有名  
歌「背の山」とは、大和国から紀伊  
国へ行く道の途中にある背山(和  
歌山県伊都郡かつらぎ町)とされ  
ます。『日本書紀』巻第二十五に載  
る大化二年(六四六)の詔では畿内  
の南限とされており、畿外との境  
界のランドマークとして旅の歌など  
に詠み込まれました。畿内とは都  
とその周辺地域を指し、現代の「近  
畿」という言い方などにその名残が  
みられます。

「背」は「兄」の意味で、古代日本  
では夫や恋人など親しい男性へ呼  
びかける言葉として用いられまし  
た。対になる語は「妹」であり、親し  
い女性を指しました。『万葉集』に  
は「妹背の山」(巻四・五四四番歌)な

な〇〇か、という意味の慣用句で、  
これまで伝え聞いていただけで見  
たことがなかつた光景や事象を目  
の当たりにした感動を表現すると  
きに用いられます。

「背の山」とは、大和国から紀伊  
国へ行く道の途中にある背山(和  
歌山県伊都郡かつらぎ町)とされ  
ます。『日本書紀』巻第二十五に載  
る大化二年(六四六)の詔では畿内  
の南限とされており、畿外との境  
界のランドマークとして旅の歌など  
に詠み込まれました。畿内とは都  
とその周辺地域を指し、現代の「近  
畿」という言い方などにその名残が  
みられます。

六九〇年の歌だとすれば、阿閌  
皇女は夫であつた草壁皇子を前年  
に亡くしていいたことになります。皇  
女はどんな気持ちで「背の山」を見  
たのでしょうか。そこには、有名な  
地名の現地を初めて訪れた感動や  
旅の道程への感慨だけではない、  
「背」という言葉に対する深い思い  
があつたことを想像させます。

(本文 万葉文化館 井上さやか)



■奈良市二条大路南三丁目5番1号  
■平城宮跡管理センター

☎ 0742-36-8780  
FAX 0742-36-8781

## 平城宮跡歴史公園 (奈良市)

元明天皇は和銅3(710)年に  
律令制に基づいた政治を行う中心

地として藤原京から平城京に遷都  
しました。

平城宮跡歴史公園には、第一次大  
極殿や朱雀門などの復元建造物や遺  
構表示があります。

また、「朱雀門ひろば」や「平城宮  
ざない館」などもオープンし、さまざま  
な催しが行われています。

## つぶやき

万葉ちゃんの  
和歌に関連するものを紹介するよ!



万葉ちゃん